

2019年度 学校経営方針

- 1 学校教育目標 ○「知・徳・体」のバランスのとれた教育活動を推進
 - ◎仲良くする子 心豊かで思いやりをもち、互いに協力し合い、自他を尊重できる子
 - 考える子 自ら課題をもち、自ら学び続け、正しく判断できる子
 - 元気な子 心身ともに健康で、課題や困難に立ち向かい、強い意志をもって最後までやり遂げる子

- 2 学校経営理念 ○上高田の大地とともに ○学校は、地域とともに、子どものためにある
※学校再編に向けて、地域との連携を図り、充実した教育活動を展開する。

- 3 中野区立学校における学校教育の基本方針
 - 生命を大切にする教育の推進 ○人権を尊重する教育の推進 ○生きる力を育む教育の推進

- 4 学校の教育目標を達成するための基本方針
 - (1) 仲良くする子
 - 全教職員が共通の視点で生命尊重・思いやりの心・人権を尊重する態度を育成することを通して、豊かな心を育む。
 - 改訂を加えた統一指導事項や「上高田スタンダード」等に基づき、学習規律や生活習慣の確立に努めることを通して、意欲的に学習や生活に取り組むことができるようにする。
 - 道徳教育の全体計画に基づき、道徳授業地区公開講座等による家庭・地域との連携を通して、道徳的实践力や豊かな人間関係を育む。
 - (2) 考える子
 - 「分かる授業づくり」に向けて、日々の授業の工夫・改善・充実と指導と評価の一体化に努めることを通して、確かな学力の向上を図る。
 - 校内研究「通常の学級における特別支援教育」の継続及び算数少数人数指導等を通して、個に応じた指導と支援の充実を図る。
 - 言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力の育成を図る。
 - (3) 元気な子
 - 体力向上プログラムに基づく体育的活動の推進や、食育・保健指導を通して、自らの健康づくりに励む態度の育成を図る。
 - 休み時間の外遊びの励行や放課後遊びの奨励とともに、再編工事期間に児童が体を動かす場所の確保に努め、進んで運動に親しみ、体を動かそうという運動習慣の定着に努める。
 - オリンピック・パラリンピック教育について、施策に基づき組織的・計画的に推進する。

- 5 特別支援教育
 - 「かみたかだ学級」設置校、中野区立小学校第3ブロック拠点校としての特性を生かし、巡回指導の拡充及び拠点校指導の充実を努め、特別支援教育を推進する。
 - 明日を担う子どもたちに、「共生社会の形成者」としての人権感覚を育むとともに、授業のユニバーサルデザインを推進する。

- 6 家庭・地域との連携、組織としての教職員の一体感
 - 家庭・地域との十分な連携を図り、子どもたちを「共に育む」という視点を大切にする。
 - 地域に根ざした学習を展開するためにゲストティーチャーを招いたり、教職員が地域行事の参観をしたりする等、双方向の交流を大切にする。
 - 組織の一体感を上高田の誇りであることを自覚し、引き続き、教職員の連絡・連携を密にし、情報を共有し協働して職務を遂行する。